

平成19年1月25日

平田ロータリークラブ 週報

No.1595

発行日 毎週木曜日

率先しよう

国際ロータリー会長 ウィリアム・ビル・ボイド
第2690地区ガバナー 新宮彦助

↑ 事務局 ↓	島根県出雲市平田町2280-1
	平田商工会議所2F TEL 0853-63-3232
	FAX 0853-63-5365
	IP 050-5204-5816
	A.M. 9:00 ~ P.M.5:00 土・日曜・祝祭日休局
E-mail hiratarc@hit-5.net	

会長 加藤喜久 副会長 田中久雄
幹事 荒木貫 会計 金田卓也

例会プログラム

例会	卓話者	演題
第1595回	会員 内田節夫	年男大いに語る
第1596回	ホシザキ・グリーン財団 調査研究課長 森 茂晃様	宍道湖・冬の野鳥たち
第1597回	島根県立看護短期大学学長 瀬戸武司様	北上する南の微生物

出席報告

会員数	出席者数	欠席者数	出席率	前回補正率
48	43	5(1)	91.49	92.86

欠席者 吾郷・西谷・原光・石橋(石原恵)
来訪者 水谷(出雲南)

幹事報告

1. 平田音楽協会会長 狩野秀嗣様より青少年新春コンサート後援のお礼状をいただきました。

委員会報告

〈プログラム〉 2月例会プログラム表配布

スマイル

水谷(出雲南) 久しぶりのメーキャップで。本年もよろしくお願いします。

大谷・森山・松浦 } 水谷 勲様、ようこそいらっしゃいました。
飯塚大・土江

松浦 新春コンサートに沢山の生徒が参加させていただき。

荒木 先週の例会は急に広島へ出掛けることになり、欠席してご迷惑をかけました。

木佐 100万ドルの食事です。よくかんでゆっくりとめしあがって下さい。

森山 私の誇るべき生徒、藤田良子君の大田小学校マーチングバンドが日本一に輝いて。

2月8日例会受付当番

佐々木 哲也 ・ 西谷 義興 ・ 小村 益造

★松江南クラブ(月) 1/29
★出雲中央クラブ(月)
★松江しんじ湖(火) 1/30

★出雲クラブ(火)
★松江クラブ(水)
★大社クラブ(水)

★平田RAC(第1・3水)
★松江東クラブ(木) 2/22
★出雲南クラブ(金)

会長挨拶

先週の例会で、社会奉仕の黒田委員長から使用済みの割りばしの回収品を鳥取県の王子製紙へ送ったとの報告がありました。当クラブではこの委員会事業により、毎年約200kgを贈っています。送った割りばしは製紙会社で紙の原料としてバージンペーパーに再生されます。

割りばし10kg（約2,500膳）がティッシュボックス約15箱に生まれ変わりますので、1年分で約300箱できあがる計算になります。

この割りばしですが日本の森林資源の無駄使いか、否か。かつてこんな「割りばし論争」が新聞紙上をにぎわしたことがあります。しかし、昭和50年代から輸入品が出回り始めて、今ではほとんどが中国からの輸入だそうです。昨年その中国が、森林保護などを理由に、大幅な値上げに踏み切りました。1年前にも3割上げたばかりでなく、中国政府は、将来的に輸出を停止する方針を打ち出しています。

1年間に日本で使われる割りばしは約260億膳で、そのうち中国製が97%とほとんどです。今までタダが当たり前だった割りばしが、今回の中国ショックで、消費者に意識転換を迫るとともに、日本の森の将来をまじめに考える、絶好の機会を与えてくれたともいえると思います。

使用済み割りばしのリサイクルのほかに、割りばしの生産に間伐材の活用、旺盛な繁殖力で生育地をどんどん拡げてきている竹の利用などで、日本が誇る豊かな森林資源をどう生かして次の世代に遺していくのか。問題意識が広がることを期待したいものです。

スピーチ

年男大いに語る

会員 内田 節 夫 (S22.12.19生)

穏やかな本年1月3日、宇美神社にて仲間（小学同窓生）とともに還暦のご祈念を受けました。

戦後のベビーブームの中で350名に上る卒業生で120数名の参加者は寂しさを感じました。この還暦について広辞苑を開きますと、「60年で再び生まれた年の干支に還るからいう」数え年61歳の称。とあります。そこで、自己流には、もう一度生まれ変わったと解釈してもよいとおもいます。

今、振り返ると、年齢だけは人並みに確実に積み上げてきたが、一人の人間として、社会の一員としての生き方はどうであったか……自問すること多しです。

しかし、この還暦を機に様々な生き方や思いがある中で、特に次の三つの事を念頭にあるいは目標にしてゆきたいと考えます。

その1) は、何をやるにも体が資本です。健康な体づくりを目指すため、食事と運動の関係を重視します。

具体的には、週1の休肝日（ノンアルコール日）十週3回のウォーキング（1時間弱で、早足で）

その2) は、「保険の普及と保険契約者の利益保護を図る」を基本に一層業務に精励することです。

縁があり平成2年に業界に入り、平成5年9月に保険代理業を営む事となり翌年2月に当平田クラブの入会許可をいただきました。

しかし、この頃から日本損害保険協会1946年設立、日本損害保険代理業協会1980年発足以来の護送船団方式にかけりが見られ、後に日本保険協議による金融の自由化、そして1996年（H8年）には生損保競争時代の幕開けとともに、業界は今日大きな変貌を遂げております。

私たちの専業代理店の組織体としては、日本損害保険代理業協会があり、それぞれの県単協として島根は、島根県損害保険代理業協会があり、現在専業代理店218点に対し、代理業協会加入会員は約80店であり、会員の増強が大命題の一つとなっております。

その3) は、地域ボランティア活動の推進です。

いくつかのボランティア活動組織に所属しております。

住みよい町づくり、安全、安心な社会目指して引き続き努力してゆきます。